

現在、Aさんは病院を退院し、施設で暮らしています。Aさんのことを大切にしてくれる人たちの中で、穏やかな顔を見せることが多くなりました。生活が安定すると、色々な希望を出してくれるようになりました今まで諦めていたことに、挑戦しようとっています。先日は、10年ぶりに映画館に行きました。また、お父さんと再会し、一緒にお墓参りに行

Aさんの再スタート

きたことで、Aさんに関する考察を深め、その情報や思いを新たに出会う支援者たちに届けることができました。このことは、生活環境に変化があつても、本人の伴走者として、代理人として、関係者間の調整役として居続ける相談員にとって非常に大切なことであると考えています。もちろん、これで支援終了ではあります。もし今後、沢山の経験を積んせん。Aさんが、地元に戻りたいと希望したときには、その願いを叶える方



相談支援専門員 糸井 詩織

白岡太陽の家にじ  
にじではクリスマスの時期に向  
けてフルーツケーキの販売が始ま  
ります。調理の仲間は毎日ケーキ  
を焼く仕事、販売準備班は袋の装  
飾や注文のチラシを配り、宣伝を  
する仕事と毎日忙しく頑張ってい  
ます。今年も美味しくなるよう仲  
間たちと心を込めて作りました。  
機会があればぜひご賞味ください。

いきます。毎年旅行に出かけるけどそもそも旅とは？を考えつつ、仲間も職員も楽しめる旅行を企画していきます。

てくれるのかい」と繰り返します。髪の毛は切りたいけれど緊張するといった複雑な気持ちが伝わってきました。そんな様子を見た美容師からは、他に行つて欲しいと言われてしましました。色々なお店を出入り禁止になつてきたAさん。もう一度とそんな思いをさせたくないかもしれません。トラブルにならないために支援者が付いていることを繰り返し云々、髪

当初、Aさんには住み慣れた地域で暮らして続けて欲しいと考えていましたが、叶いませんでした。けれど地元から離れた地で、Aさんの今までの苦しみや相談員の思いを理解し協力をしてくれる人たちと出会うことができました。穏やかに笑うAさんの姿は、どこで暮らすかどうでは

存在は、ライフステージごとに途切れることなく、継続した支援を提供していくことができる地域作りの重要性も教えてくれました。

相談員として思うこと

法を皆で一緒に考えたいと思つてます。

一木ノ内ノノ

目一杯樂しみたいですね。

埼葛北障害者生活支援センター  
いようは、蓮田市、白岡市、幸手市  
杉戸町、宮代町から相談支援の委託  
を受けています。「相談支援」といつ  
ても、事業所で相談を受けることは  
ほとんどなく、訪問や同行、会議など  
相談員たちは日々飛び回っています。  
知的または身体障害の方が主な  
支援対象ですが、下は0歳から上は  
70歳代と年齢層はとても幅広いです  
多岐に亘る相談の中でも、暮らしの  
場に関する相談は切実です。今回は  
そんな暮らしの場にまつわる支援を  
ご報告します。

## Aさんとの出会い

療育手帳を所持するAさん（女性  
40代後半）は、長年お父さんと共に  
暮らしてきました。過去に学校に行つ  
たこともありましたが、嫌な思いを

子になることもありました。このまではいけないと、福祉課より支援センターに支援の協力依頼がありました。

した。

初めての自宅訪問時、Aさんは部屋から出てきてくれませんでした。部屋の中は新聞紙や本などで溢れ、足の踏み場もありません。その中でこちらの様子を窺っています。そんな訪問が何度も続いたある日、部屋にある新聞をきっかけに話をしてくれるようにになりました。知識が豊富なAさんは、流れるようなくさん情報を持ち続けました。その中には「〇〇に行つてみたい」といった希望も含まれていました。

## 一人ぼっちになつてしまつたAさん

訪問を重ね、少しずつ距離が縮まってきたと手応えを感じ始めていた頃

ご報告します。

埼葛北障害者生活支援センターといふことは、蓮田市、白岡市、幸手市、杉戸町、宮代町から相談支援の委託を受けています。「相談支援」といっても、事業所で相談を受けることはほとんどなく、訪問や同行、会議など相談員たちは日々飛び回っています。知的または身体障害の方が主な支援対象ですが、下は0歳から上は70歳代と年齢層はとても幅広いです。多岐に亘る相談の中でも、暮らしの場に関する相談は切実です。今回はそんな暮らしの場にまつわる支援を

# おひさま通信

## 途切れることのない 継続した支援を

おひさま通信

途切れることのない  
継続した支援を

\* 埼葛北障害者  
生活支援センター \*

早吉白

することも多く、次第に人に対する警戒心を持ち、自宅に籠つていきます

お父さんの認知症が悪化し、自宅で暮らし続けることが困難になりまし

太陽の里

アトリエ輪  
先日恵比寿にて作品展「Magic Number 2018」が開催され、アトリエ輪で仕事をしている仲間の中から西川さん、箭内さん、野口さん、鶴岡さん、白田さんの作品が展示されました。見学に行つた際にも自分の作品を目の当たりにすると作品を手で触り、身振り手振りでアピールをしている姿を見るととても感動的なシーンでもあります。

總  
吉